Osaka University Knowledge Archive

Title	<図書紹介>ウィーンのアール・ヌーヴォー/アール・デコ〔1〕ウィーンの装飾図案集　ウィーンのアール・ヌーヴォー/アール・デコ〔2〕ウィーン工房の装飾文様　学研1989年5月　学研1988年11月
Author(s)	鈴木, 佳子
Citation	デザイン理論. 1989, 28, p. 120-120
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52633
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

図書紹介

ウィーンのアール・ヌーヴォー／アール・デコ〔1〕
ウィーンの装飾図案集

ウィーンのアール・ヌーヴォー／アール・デコ〔2〕
ウィーン工房の装飾文様

学研 1989 年 5 月
学研 1988 年 11 月

近年オーストリアのウィーンに種々の目が，向けられている。丁度，世紀末のことがいろいろに取り沙汰されるようになって，19 世紀末ウィーンは終焉と始まり（Finale und Anfang）というのにふさわしいからなのだろう。

1900 年という時期に於いて注目された，ウィーン・ゼセッション及びウィーン工房の作品についても，本国におけると同時にイタリアやその他で出版されることが多くなり，又その作品の展覧会も世界各国で開催され，あらためてその作品群に出会うことになった。

本書はその作品の中でも，特に平面デザインの部分をとりあげたもので，タイトルにあるように装飾図案集となっている。第 1 集（第 1 部）はウィーン・ゼセッションの作品 —— 主として機関誌「聖なる春」の中より，J・ホフマンやJ・M・オルブリッヒ，K・モーザー，その他の人々の作品 ——を掲載し，第 2 部はウィーン工芸学校の「源泉」「平面」より，K・モーザー，A・ローラー，C・O・チェシュカなどの作品を掲せている。

第 2 集，ウィーン工房の装飾文様は，第 1 部 1913 年ウィーン，壁紙展覧会コレクションより，J・ホフマン，C・O・チェシュカ，L・H・ユンクニッケル他の色彩図版を大きく掲せ，ウィーン工房の初期の壁紙をコレクションしている。ついで 1922 年を中心にD・ペッヒェ，の作品を数多く収録しこの時代，一世を風びしたペッヒェ文様を見せている。それらはその頃の印刷技術（ケルンのフラマース＆シュタイン社）を最大限用いている。長い大きなくり返し文様や数多い色変りなどを …… 第 2 部はペッヒェ以後（ペッヒェ 1923 年 36 才で亡くなる）ウィーン工芸学校でホフマンの生徒だった 3 人の女性デザイナーの仕事を掲せている。1925 年頃よりウィーン工房の終りまでで，M・リカルツ，F・リックス，M・フレーゲルの 3 人で壁紙やテキスタル・デザインの分野では特に目を引く個性的な仕事を集めてあって見ていて楽しいコレクションである。

J・ホフマン（1970 ～ 1956）
J・M・オルブリッヒ（1867 ～ 1908）
K・モーザー（1868 ～ 1918）
A・ローラー（1864 ～ 1935）
C・O・チェシュカ（1878 ～ 1960）
L・H・ユンクニッケル（1881 ～ 1965）
D・ペッヒェ（1887 ～ 1923）
M・リカルツ（1893 ～ 1971）
F・リックス（1893 ～ 1967）
M・フレーゲル（1893 ～ 1950）

（鈴木佳子）